

公表:令和 6年 3月 25日

事業所名 ZENIBAKO Brave

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動ごとにスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				児童定員に対し配置数は適切である。現在、利用者状況をみながら職員体制を検討中である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			活動ごとに部屋を分け、活動の流れが習慣化するよう本人に分かりやすく配置している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			必要時に応じ部屋の配置の変更等を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		日々の会議で、情報共有、振り返り等を行い職員が参画している。	PDCAサイクルには基づいていないため、今後必要に応じて行っていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方からいただいたご意見を周知し、改善すべきところは取り入れている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		必要に応じて取り組んでいく。
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		必要に応じて内部研修を取り入れている。	職員の資質の向上のため、外部研修も検討し、参加した際は他職員に周知する。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		利用者状況に合わせ都度活動を組み、日々の会議で話し合っている。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者に合わせて活動を提供している。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○					
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前の時間を確保し毎日必ず行っている。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		その日に行えない場合は、翌日の支援開始前の会議で振り返り等を共有している。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○					
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○					
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○					
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					非該当	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					非該当	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			情報提供を求められた際は資料を作成したり、日々送迎の際に情報共有を行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			情報提供を求められた際は資料を作成したり、日々送迎の際に情報共有を行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			利用者の担当者と連携し情報共有を行う中で助言をいただいている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○			必要に応じ検討していく。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		必要に応じ検討していく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		プログラムはないが、都度情報共有を行い助言等をしている。	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			父母の会を計画してきたが集まることが困難な状況。別の形で計画中。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談・苦情等受付担当者および責任者設置している。相談や申し入れは迅速に対応している。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			前期、後期でお便りを発行している。必要に応じ都度LINE等で発信している。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		必要に応じて検討していく。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			訓練内容や訓練中の様子など保護者にも周知している。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に目的に合わせて避難訓練を行っている。	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 6年 3月 25日

事業所名 ZENIBAKO Brave

保護者等数(児童数) 3名 回収数 3名 割合 100 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2			1		児童定員に対して必要な面積・設備を満たし、また活動ごとにスペースを確保している。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	2		1		利用者に対し職員が少ないと思う。	児童定員に対し配置数は適切である。現在、利用者状況をみながら職員体制を検討中。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2			1		活動ごとに部屋を分け、本人に分かりやすく配置している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2			1		毎日清掃・消毒作業を実施。活動や利用者状況に合わせ、部屋を分けたり、臨機応変に対応している。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					本人、保護者のニーズを聞き取り、課題や目標を立て計画書を作成している。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					5領域に合わせ課題と目標を立て計画書に取り入れている。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					定期的カンファレンスを行い、目標と課題を明確にしながら進めている。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	1			外での活動が少ない。	意見を取り入れ、活動プログラムを見直し検討していく。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3					今後は、地域交流も検討していく。
保護者 への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					契約時に読み上げながら1項目ずつ説明を行い、質問等確認をするように留意している。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	3					個別支援計画に沿って内容を説明したうえで、ご家族様から署名・捺印をもらっている。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3					いつでも相談を受け付け、職員全体に周知対応している。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	3					LINE、サービス提供記録などを活用し、その日の様子や出来事などを共有している。

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2			1		LINEや電話などを活用し、日々の様子を共有したり、いつでも相談を受け付けている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2			1		保護者同士の交流の場を設けるため、来年度に向けて計画 中。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3					相談・苦情等受付担当者および責任者設置している。相談や申入れは迅速に対応している。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3					サービス提供記録やLINEで日々子どもの様子を共有している。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3					HPやLINEを活用し情報を発信している。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3					個人情報の取扱いに十分留意している。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3					緊急時対応・感染症対応については職員間で周知し、マニュアルに沿って研修の定期開催を継続。状況に応じた各訓練を定期開催している。訓練概要や実施日等は年間予定表への記載やご案内にて周知している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3					今後も楽しみに通所していただけるように尽力を尽くしてまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3					今後も保護者の方が安心して預けられるような事業所にしてまいりたいと思います。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。